２０１２年　　月　　日

札幌市長　上田文雄　様

市営住宅家賃減免に係る要望書

＜要望主旨＞

札幌市は、行財政改革の一環として「市営住宅家賃減免の見直し等」で２年間で８億円余の負担増を計画しています（札幌市全体では、保育料引き上げ等で３年間で５３億円の負担増計画）。

今年の８月、見直しの内容が公表されました。主なものは、①８０％・７０％減額の廃止、②最低負担額の引き上げ（＋７００円で、４２００円に）、③老年者控除の廃止、④医療費控除の見直し、⑤シングルマザー等への「寡婦（夫）控除」の適用などです。来年分で３億円以上の負担増になります。

家賃減免制度は、収入が少なくて家賃の支払いが困難な世帯に対して、家賃を減額免除することでくらしを応援しようという制度です。もし、見直しが実施されるなら、生活保護を利用せずに頑張ってきた世帯を生活保護に追い込むことになりかねません。中止を要望します。

＜特に重要な要望項目＞

（１）８０％減額・７０％減額の廃止はやめること。
（２）老年者控除の廃止はやめること。
（３）医療費控除の廃止はしないこと。
（４）シングルマザー等への「寡婦（夫）控除」の適用は実施すること。

氏　　名	住　　所

＜　取扱団体　＞